

## ～日露地域間交流に果たす日本センターの活動～

2011年8月17日  
ロシア日本センター

日本政府は、1994年以降、ロシアの市場経済改革支援の一環としてロシア連邦内6都市に日本センターを設置しました。この日本センターは、将来のロシア経済を担い、日露経済関係の分野で活躍することが期待される人材を発掘し育成するため、①各種ビジネス・セミナーや訪日研修の実施、②日露間の貿易・経済活動の促進に繋がるビジネス・マッチングを中心に活動しておりますが、対日理解を促進して日本との円滑なビジネスを促進することを目的に③ビジネス日本語講座も行っております。

日本センター本部はモスクワに所在しておりますが、その他にも極東地域のハバロフスク、ウラジオストク、ユジノサハリンスク、そして欧露地域のサンクトペテルブルク及びニジニー・ノヴゴロドに支部を有しており、6つの拠点をカバーしています。



日本センターの所長全員が、日ソ貿易で長年にわたり活躍した経験を有しており、日本外務省と共に官民による日露経済促進体制の一翼を担うと同時に、現地に密着した活動を展開しております。様々な顔を持ち合わせる日本センターですが、本稿ではここ数年間で特に活発化している日本各地の地方自治体とロシア各都市との地域間経済交流に焦点を絞り、具体例を交えつつ、日本センターが果たし得る役割をご紹介します。

### 1. 「ハバロフスク国際見本市 2010」

2010年9月16日～19日、ハバロフスク市で「ハバロフスク国際見本市 2010」が開催されました。この見本市は、ハバロフスク市の公的機関が後援し、ロシア国内のみならず、日本、中国、韓国の3カ国から約200社の参加を得て大々的に実施されました。

日本からは、青森県、新潟県、宮城県、秋田県及び山形県等から10数団体が参加し、日本ブースに食品・果物、花木、文房具や台所用品等を出品しました。この機会を捉え、日本センター・ハバロフスク支部は、現地事情に精通している強みを生かしながら、日本側参加企業の業種を踏まえ、ロシア側企業数社を事前に選定の上、商談の機会を設けて、ビジネス・マッチングのお手伝いをしました。



## 2. 日本センター本部で実施された特産品プレゼンテーション

2010年2月には秋田県が、同年5月には宮城県が、特産品のPRのために地元企業数社と共に、ロシアを訪問しました。これに際し、モスクワの日本センター本部は、事前にロシアの商習慣、法律制度等ロシアにおける円滑なビジネスに役立つ情報を提供するとともに、参加企業のビジネス・パートナーとなり得る信頼に足る露側企業の個別訪問や、日本センター会議室を利用した商談会をアレンジしました。このような活動は「地元密着型」の活動を展開する日本センターにとり、もっとも得意とするところであり、参加企業のニーズに合わせたアレンジが可能であると自負しております。



## 3. 日露貿易投資促進機構

また、日本センターは、日露貿易投資促進機構の活動(※)の枠組みの中、①日露両国の企業及び制度に関する情報提供、②コンサルティング(企業紹介、初期的な進出支援)及び③日露企業間の紛争の予防・解決への支援も行っております。

(※ 日露貿易投資促進機構のホームページはこちら：<http://www.jp-ru.org/>)



日本センターは、地域間交流促進の為の言わば「カタリスト(=触媒)」的な存在を目指しております。今後とも、このような地方自治体との協力をとおして、日露経済関係の促進に寄与していきたいと考えております。ロシアとのビジネスにご関心があれば、いつでも日本センターにご連絡下さい。

外務省の日本センター紹介：[http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/russia/shien/j\\_center.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/russia/shien/j_center.html)

ロシアにおける日本センター本部ホームページ：<http://www.jcenter.msu.ru/?lang=jp>